

いまの社会を、憲法通りにつくり変えよう

憲法改悪ストップ兵庫県共同センター週刊ニュース

650-0012 神戸市中央区北長狭通5-2-10・兵高教組会館4F

電話：078-366-6855 FAX：078-366-6856

Eメール：kenpou-hgkyodo@s9.dion.ne.jp

HP：https://kenpou-hyougo.sakura.ne.jp/

憲法と活かそう

No.936

2023年

12月14日

戦火よびこむ「安保三文書」破棄せよ、戦争の覚悟でなく、平和の国づくりを たたかい続けよう 岸田支持急落・逆に壊憲へのめり！？ 衆議院第5回(12/7)審査会のもよう

岸田首相は、支持率低下の上に「政治資金パーティー券裏金」、つまり賄賂政治が表面化し政権瀕死事態へ。

そのため自民党内の右翼にすがりついて「壊憲」へのめりです。昨日(12/2)も「任期中(2024/9)に改憲を実現したい」と公言していました。

これを支える自民・公明だけでなく、維新と国民民主の「壊憲呼応」はひどい状況です。

以下、この臨時国会中の衆議院憲法審査会の動きをまとめましたので、当センターのホームページなども使い、「改憲ではなく、憲法による平和外交を」の声をぜひ集中下さるようお願いします。

衆議院第3回審査会のもよう

「緊急事態条項創設」条文案を起草する作業部会を来年の通常国会で設置するよう自民党が提案。公・維・国が賛同。立憲は反対しましたが、CM やインターネット広告の規制などで課題が残る国民投票法の見直しについては作業部会の設置に応じると表明。

野党筆頭幹事の中川正春氏(立憲)は、大災害や未知の感染症の世界的大流行などの緊急事態には法律で対応可能と指摘。「緊急事態条項は現時点で憲法に明記する必要はない」と主張しました。

《壊憲阻止・戦争法等廃止・野党共闘・原発・行動案内》

※12/19(火)県下各地で戦争法廃止19日宣伝行動

※12/19(火)18:00「神戸大丸前」戦争法廃止19日宣伝行動

※12/19(火)16:00「JR赤穂駅前」戦争法廃止19日宣伝行動

◆◆◆地域や団体の催し◆◆◆

★★★ 1月17日(水) 13時～

阪神・淡路大震災29年メモリアル集会

深刻化する気候危機と頻発する水害

場所：新長田ピフレホール

記念講演：安齋育郎さん・立命館大学名誉教授

『原発事故処理汚染水海洋放出の真実(仮)』

報告：谷口真治さん・香美町町会議員

『台風7号による香美町の豪雨災害』

資料代：¥1000

(連) 078 - 335 - 3770

★★★ 1月21日(日) 13時～

2025関西万博、本当の狙いはカジノ！

テレビがつたえない真相

主催：NHK とメディアを考える会(兵庫)

場所：兵庫県民会館9階県民ホール

講演：西谷文和さん・フリージャーナリスト

『ギャンブルで大阪・関西の将来はどうなる』

報告：藪田ゆきえさん・

カジノ問題考える大阪の会事務局長

『万博・カジノを止める府民の運動』

参加費：¥1000

(連) 090 - 5054 - 7171

衆議院憲法審査会での 2023.11.16 主要政党の主な主張 各日(11/17)

自民党 中谷元氏	議員任期延長をはじめとした国会機能維持策について速やかに議論を詰めて具体案を検討すべきだ
立憲民主党 中川正春氏	選挙困難事態における議員任期の延長については反対だ。それより参院の緊急集会で対応すべきだ
日本維新の会 岩谷良平氏	(緊急事態条項について)遅くともこの臨時国会で憲法改正原案のとりまとめを行わなければならない
公明党 北側一雄氏	議員任期延長問題などできる限り速やかに結論を出していかなければならない
国民民主党 玉木雄一郎氏	自民の(改憲に向けた)取り組みが遅すぎる。保守層つなぎのための「やるやる詐欺」ではないか
共産党 赤嶺政賢氏	憲法9条を現実の政治に生かすことが政治家の責務。憲法の平和主義に基づく外交が求められている

衆議院第4回(11/30)審査会のもよう

「衆議院議員任期延長のための緊急事態条項創設」へ、自・公・維・国から「条文案作成へ移行せよ」と続出。終了後、中谷自民筆頭幹事は「4党で合意がなされたので、あとは立憲次第」と述べ、「立憲とりこみ」へ動きだしています。